

5. 大会スケジュール

1日目 11月24日(土) プログラム

多目的ホール	講義棟							学生会議 サクラウム 6FB
	107	108	109	110	306	305	304	
9:45 開会式								
10:00~12:00 大会主催シンポジウム 場所の力とスピリット ー沖繩で語りあおうー (企画 やまだようこ・ 南 博文)	①10:00~12:00 性暴力の被害者と共に質的研究 をつくるための方法論ー深い傷 つきの体験をわちあうために ー (企画 大竹モルナー裕子)	②10:00~12:00 委員会企画 質的心理学と意味、質的 心理学の意味 (企画 浦田悠)						
13:30~15:00 市民公開講演 沖繩を語る (森江平之)	④-1 13:30~15:30 委員会企画 プロフェッショ ナルの拡大、拡張、変容/第一 部 「学校教育と看護学の立場 から」 (企画 近田真美子)	⑤13:30~15:30 海外のフィールドに日本 人の質的研究者として長 くじっくり関わるとい うこと (企画 伊藤 哲司)			③13:30~15:30 立場の異なる者と共生す る: Brunerの意味的行為 の展開可能性 (企画 横山章介)	⑥13:30~15:30 生の希望をふたたびー認 知症高齢者への音楽療法 とアルコール依存症者の 回復についての語りか らー (企画 山本玲菜)		
	④-2 15:45~17:45 委員会企画 プロフェッショナ ルの拡大、拡張、変容/第二部 てつがくカフェー「プロフェッ ショナル」とは何か?ー (企画 近田真美子)		⑦15:45~17:45 「深い経験付け」(deep experiencing)とキャリ アの分岐点 (企画 土元哲平)	⑧15:45~17:45 精神医学と現象学的心理 学から死と他者の形而上 学へ(第2報): 「人文 死生学宣言」の誕生 (企画 渡辺恒夫)	⑨15:45~17:45 沖繩「体験」を語る-ナ ラティブなグループワー クを通して語り合う「わ が内なる沖繩」 (企画 田代順)	⑩15:45~17:45 社会詩学(social poetics)の読み (企画 森岡正芳)	⑪15:45~17:45 社会的危機状況から創造 される「未来のコミュニ ティ」の萌芽: ポスト社 会構成主義に向けた対話 型セッション (企画 香川秀太)	
							17:45までに 撤去	
								懇親会 18:00~20:00

2日目 11月25日(日) プログラム

学生会館 (サクラウム)							
多目的ホール	6 F B	4Fアクティブ スペース	4 F 研修室A	5F 研修室 B	3 F大講義室A	3 F大講義室B	
9:00~10:30 大会企画教育講演 視覚イメージで語るービジュアル・ナラティブ (やまだようこ)	⑫ 8:30~ 10:30 若者にとって沖縄の平和学習 はどう生き方に影響している のか (企画 稲垣絹代)				⑬ 8:30~ 10:30 「質的統合法 (K)法」の質 的研究の可能性を考えるー科 学的質的研究に向けて (企画 山浦晴男)	⑭ 8:30~ 10:30 発話・身体動作の時間構造を 記述する: コレクションに基 づく質的分析の可能性 (企画 細馬 宏通)	
10:45~12:15 大会企画特別講演 「文学、環境、人間ー 場所学の可能性」 (山里勝己)				⑮10:45~12:45 ナラティブのうまれるとこ ろ、そしてその向こう: ナラ ティブ研究の可能性を探る (企画 保坂裕子)	⑯10:45~12:45 委員会企画 質的研究の多次元領域マップ を創る (企画 荒川夢)	⑰10:45~12:45 ナラティブを通じた他者理解 ー聞き手の視点と感性に注 目しながら (企画 植田嘉好子)	
	総会13:00~14:00						
	⑱14:15~16:15 巨大災害後の内発的復興を促 すために: アクシヨナリサー チにおける共同当事者性を考 える (企画 永田素彦)	⑲14:15~16:15 沖縄戦体験者の精神保健と 戦争トラウマ (企画 田場真由美)	⑳14:15~16:15 集合的な場の「温度感」を 記述する (企画 岡部 大介)	㉑14:15~16:15 相互行為研究における 「教養」の復権: 歴史・ 地理・文学・生物編 (企画 阿部廣二)	㉒14:15~16:15 農と子どもと心理学 (企画 菅野幸恵)	㉓14:15~16:15 「土地の力」と災害復興ー 被災地のエスノグラフィーを 通じて (企画 村本邦子)	